

# 野村エマーシング・ソブリン 円投資型1302

## 償還運用報告書(全体版)

第43期（決算日2023年11月24日） 第44期（償還日2024年2月26日）

作成対象期間（2023年8月25日～2024年2月26日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行ない、償還価額が決定いたしました。  
ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／債券	
信託期間	2013年2月27日から2024年2月26日までです。	
運用方針	野村エマーシング・ソブリン 円投資型 マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行なうことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。為替ヘッジはマザーファンドにおいて行なうため、原則として行ないません。	
主な投資対象	野村エマーシング・ソブリン 円投資型1302	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村エマーシング・ソブリン 円投資型1302	株式への直接投資は行ないません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への直接投資は行ないません。株式への投資は転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に原則として経費控除後の利子・配当等収益と売買益から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準額 (分配落)	準 価 額			受 益 者 利	債 券 債 券 元 組 入 比 率 先 物 比 率 残 存 本 率	中 率	中 率	中 率	中 率
		税 分	込 配	み 金						
(設定日)	円 銭	円	円	円 銭	%	%	%	%	%	
2013年2月27日	10,000	—	—	—	—	—	—	—	100.0	
1期(2013年5月24日)	9,976	60	36	0.4	1.5	100.1	—	92.3		
2期(2013年8月26日)	9,057	45	△874	△8.8	△16.9	98.1	—	91.3		
3期(2013年11月25日)	9,366	45	354	3.9	△6.5	98.5	—	86.5		
4期(2014年2月24日)	9,419	45	98	1.0	△3.9	97.1	—	82.1		
5期(2014年5月26日)	9,651	45	277	2.9	△0.9	96.9	—	75.1		
6期(2014年8月25日)	9,680	45	74	0.8	△0.2	99.5	—	72.8		
7期(2014年11月25日)	9,700	45	65	0.7	0.2	99.7	—	65.0		
8期(2015年2月24日)	9,708	45	53	0.5	0.4	98.8	—	62.4		
9期(2015年5月25日)	9,744	45	81	0.8	0.7	98.3	—	60.0		
10期(2015年8月24日)	9,490	45	△209	△2.1	△0.2	95.2	—	58.0		
11期(2015年11月24日)	9,473	45	28	0.3	△0.1	97.7	—	38.9		
12期(2016年2月24日)	9,429	45	1	0.0	△0.1	96.8	—	37.0		
13期(2016年5月24日)	9,624	45	240	2.5	0.7	99.2	—	33.2		
14期(2016年8月24日)	9,978	45	399	4.1	1.8	95.7	—	29.5		
15期(2016年11月24日)	9,446	45	△487	△4.9	0.4	104.4	—	27.3		
16期(2017年2月24日)	9,632	45	231	2.4	0.9	98.2	—	24.7		
17期(2017年5月24日)	9,672	45	85	0.9	1.1	95.9	—	24.2		
18期(2017年8月24日)	9,769	45	142	1.5	1.3	96.1	—	23.2		
19期(2017年11月24日)	9,699	45	△25	△0.3	1.2	95.9	—	22.8		
20期(2018年2月26日)	9,464	45	△190	△2.0	0.8	96.1	—	22.7		
21期(2018年5月24日)	9,180	45	△239	△2.5	0.3	96.5	—	21.5		
22期(2018年8月24日)	9,007	45	△128	△1.4	0.0	98.1	—	20.5		
23期(2018年11月26日)	8,815	45	△147	△1.6	△0.2	96.8	—	19.4		
24期(2019年2月25日)	9,017	45	247	2.8	0.2	96.9	—	18.4		
25期(2019年5月24日)	9,136	45	164	1.8	0.4	97.8	—	18.1		
26期(2019年8月26日)	9,416	45	325	3.6	0.9	95.7	—	15.8		
27期(2019年11月25日)	9,305	45	△66	△0.7	0.8	97.6	—	15.4		
28期(2020年2月25日)	9,575	45	315	3.4	1.2	99.3	—	14.8		
29期(2020年5月25日)	9,161	45	△369	△3.9	0.7	96.8	—	14.1		
30期(2020年8月24日)	9,543	45	427	4.7	1.2	95.6	—	14.0		
31期(2020年11月24日)	9,656	45	158	1.7	1.4	96.6	—	14.0		
32期(2021年2月24日)	9,529	45	△82	△0.8	1.2	98.9	—	13.7		
33期(2021年5月24日)	9,509	45	25	0.3	1.2	96.0	—	13.2		
34期(2021年8月24日)	9,565	45	101	1.1	1.3	97.8	—	13.2		
35期(2021年11月24日)	9,324	45	△196	△2.0	1.0	100.0	—	12.3		
36期(2022年2月24日)	9,027	45	△252	△2.7	0.7	98.2	—	12.1		

決算期	基準 (分配落)	準 価 額			受 益 者 利	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	元 残 存 本 率
		税 分 配 金	期 騰 落	中 額				
	円 銭	円	円 銭	%	%	%	%	
37期(2022年5月24日)	8,479	45	△503	△5.6	0.2	101.5	12.0	
38期(2022年8月24日)	8,396	45	△38	△0.4	0.1	99.4	12.0	
39期(2022年11月24日)	8,125	45	△226	△2.7	△0.1	93.3	11.9	
40期(2023年2月24日)	8,057	45	△23	△0.3	△0.1	98.6	11.8	
41期(2023年5月24日)	8,048	45	36	0.4	△0.1	100.3	11.7	
42期(2023年8月24日)	7,876	45	△127	△1.6	△0.2	98.2	11.5	
43期(2023年11月24日)	7,804	45	△27	△0.3	△0.2	94.2	10.9	
(償還時) 44期(2024年2月26日)	(償還価額) 7,837.45	—	33.45	0.4	△0.2	—	10.0	

\* 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
第43期	(期 首) 2023年8月24日	円 銭 7,876	% —	% 98.2	% —
	8 月 末	7,942	0.8	99.8	—
	9 月 末	7,749	△1.6	101.1	—
	10 月 末	7,688	△2.4	97.6	—
	(期 末) 2023年11月24日	7,849	△0.3	94.2	—
第44期	(期 首) 2023年11月24日	7,804	—	94.2	—
	11 月 末	7,864	0.8	92.8	—
	12 月 末	8,023	2.8	95.8	—
	2024年1月末	7,834	0.4	—	—
	(償還時) 2024年2月26日	(償還価額) 7,837.45	0.4	—	—

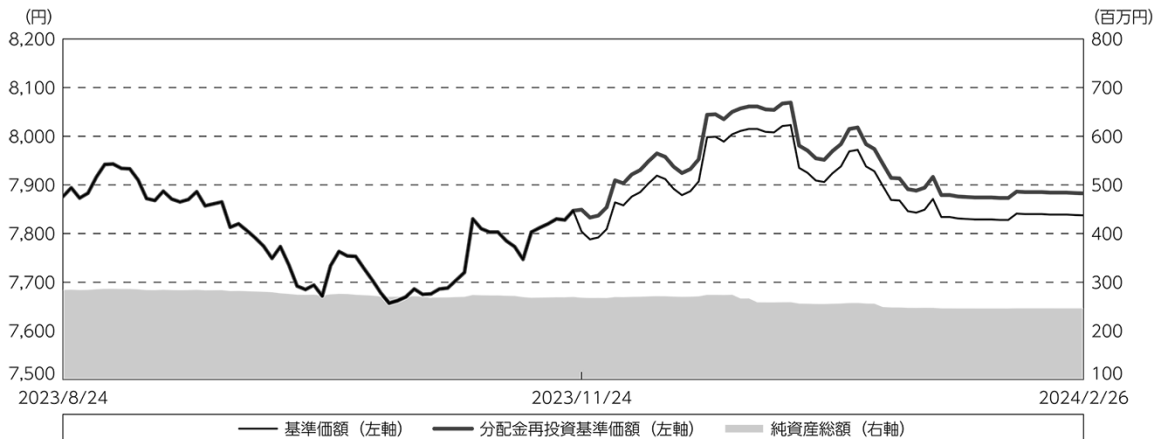
\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○作成期間中の基準価額等の推移



第 43 期 首： 7,876円

第44期末(償還日)：7,837円45銭 (既払分配金(税込み)：45円)

騰 落 率： 0.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2023年8月24日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

\* 基準価額は0.1%の上昇。

基準価額は、第43期期首の7,876円から第44期期末7,837.45円となりました。第43期に分配金を45円お支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は6.45円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン(利息収入)。

(上昇) 保有していた債券の値上がり(キャピタルゲイン)。

(下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

## ○投資環境

当作成期を通じて、10年米国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

米国では、2023年10月までは、米国の底堅い景気やFRB（米連邦準備制度理事会）の金融引き締め姿勢が意識されたことなどを受けて、10年米国債利回りは上昇傾向に推移しました。しかし、同年11月以降に、各種経済指標の悪化やFRB高官の発言を受け、FRBの利上げ打ち止め観測、早期利下げ期待が高まったことなどから10年米国債利回りは低下に転じ、同債券利回りの上昇幅は縮小しました。

米ドル建てエマージング国債市場全体の対米国債スプレッド（利回り格差）は、縮小しました。

ブラジルでは、新たな財政均衝策が施行され、今後の歳出増に一定の歯止めがかかり、ブラジル政府の財政収支が改善するとの期待が高まりました。このような環境下、米ドル建てブラジル債券の対米国債スプレッドは縮小しました。

メキシコでは、2023年10-12月期のGDP（国内総生産）が前期比+0.1%となり、9四半期連続でプラス成長となりました。このような環境下、米ドル建てメキシコ債券の対米国債スプレッドは縮小しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### [野村エマージング・ソブリン 円投資型1302]

[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド] 受益証券の組入比率を高位に維持しました。

定時償還に伴い、[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド] 受益証券の売却を実施し、現金化しました。

### [野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド]

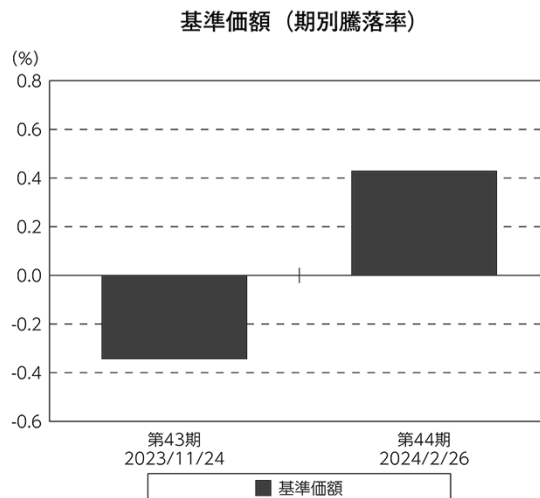
信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8カ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から2024年1月中旬までブラジル、インドネシア、ハンガリー、ルーマニア、南アフリカ、メキシコ、ペルー、コロンビアに投資を行ないました。資金対応のため、1月中旬にインドネシアを売却し、投資国をブラジル、ハンガリー、ルーマニア、南アフリカ、メキシコ、ペルー、コロンビアの7カ国としました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

その後、償還準備のため、米ドル建ての新興国債券を売却しました。米ドルを売り、日本円を買う為替ヘッジ取引の解消を行ないました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から次の通りとさせていただきます。第44期では、償還のため分配は行ないませんでした。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないました。

	第43期
1口当たり分配金（税込み）	45円

## ◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円が償還時に7,837.45円となりました。設定来、分配金を1口当たり1,950円お支払いしましたので、分配金を考慮した値下がり額は212.55円となりました。

#### 【第1-44期】

##### (上昇要因)

- ・債券を保有していたことによる利息収入（インカムゲイン）。

##### (下落要因)

- ・対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。
- ・保有していた債券の値下がり（キャピタルロス）。

当ファンドは、2024年2月26日をもちまして償還となりました。設定以来のご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

## ○ 1口当たりの費用明細

(2023年8月25日～2024年2月26日)

項 目	第43期～第44期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 46	% 0.587	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(18)	(0.235)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(26)	(0.335)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 1)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	2	0.032	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 2)	(0.030)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	48	0.619	
作成期間の平均基準価額は、7,850円です。			

\* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

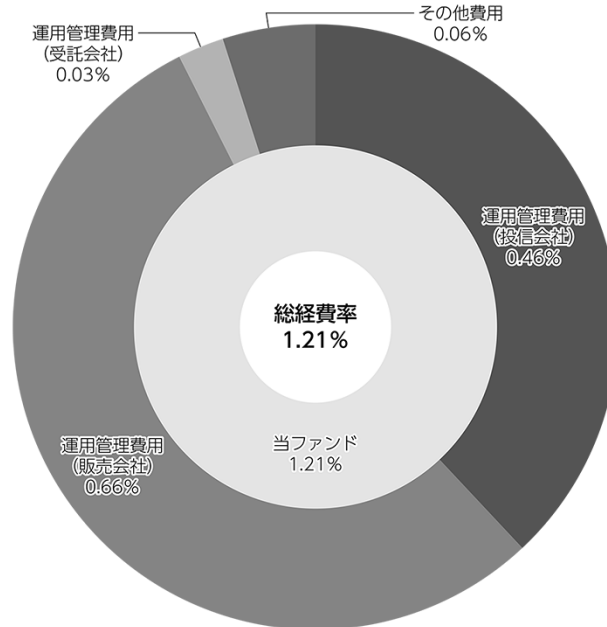
\* 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## (参考情報)

## ○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.21%です。



(注) 当ファンドの費用は1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年8月25日～2024年2月26日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第43期～第44期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
野村エマージング・ソブリン	円投資型 マザーファンド	千口 163	千円 200	千口 233,534	千円 285,410

\*単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年8月25日～2024年2月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年2月26日現在)

2024年2月26日現在、有価証券等の組入れはございません。

## 親投資信託残高

銘	柄	第42期末	
		口	数
野村エマージング・ソブリン	円投資型 マザーファンド		千口 233,371

\*単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2024年2月26日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 246,881	% 100.0
投資信託財産総額	246,881	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び償還(基準)価額の状況

項 目	第43期末	償 還 時
	2023年11月24日現在	2024年2月26日現在
	円	円
(A) 資産	270,349,787	246,881,463
コール・ローン等	2,770,814	246,881,463
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド(評価額)	267,478,973	-
未収入金	100,000	-
(B) 負債	2,324,846	738,477
未払収益分配金	1,545,570	-
未払信託報酬	777,766	737,037
未払利息	2	17
その他未払費用	1,508	1,423
(C) 純資産総額(A-B)	268,024,941	246,142,986
元本	343,460,000	314,060,000
次期繰越損益金	△ 75,435,059	-
償還差損金	-	△ 67,917,014
(D) 受益権総口数	34,346口	31,406口
1口当たり基準価額(C/D)	7,804円	-
1口当たり償還価額(C/D)	-	7,837円45銭

(注) 設定年月日2013年2月27日、設定元本額は3,132,640,000円、第43期首元本額は360,460,000円、当作成期末における元本残存率は10.0%、1口当たり純資産額は、第43期7,804円、第44期7,837.45円です。

## ○損益の状況

項 目	第43期	第44期
	2023年8月25日～ 2023年11月24日	2023年11月25日～ 2024年2月26日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 44	△ 88
支払利息	△ 44	△ 88
(B) 有価証券売買損益	1,068,568	2,331,073
売買益	1,068,568	24,306,423
売買損	-	△21,975,350
(C) 有価証券評価差損益	△ 1,432,260	-
(D) 信託報酬等	△ 804,459	△ 763,880
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 1,168,195	1,567,105
(F) 前期繰越損益金	△76,575,194	△75,435,059
(G) 解約差損益金	3,853,900	5,950,940
(H) 計(E+F+G)	△73,889,489	-
(I) 収益分配金	△ 1,545,570	-
次期繰越損益金(H+I)	△75,435,059	-
償還差損金(E+F+G)	-	△67,917,014

\* 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年2月27日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年2月26日			資産総額	246,881,463円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	738,477円	
受益権口数	313,264口	31,406口	△ 281,858口	純資産総額	246,142,986円	
元本額	3,132,640,000円	314,060,000円	△2,818,580,000円	受益権口数	31,406口	
				1口当たり償還金	7,837円45銭	
最近10年の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1口当たり分配金		
				金額	分配率	
第5期	2,354,840,000円	2,272,711,956円	9,651円	45円	0.45%	
第6期	2,281,330,000	2,208,428,536	9,680	45	0.45	
第7期	2,038,130,000	1,977,083,240	9,700	45	0.45	
第8期	1,954,870,000	1,897,802,448	9,708	45	0.45	
第9期	1,881,260,000	1,833,017,097	9,744	45	0.45	
第10期	1,819,660,000	1,726,877,883	9,490	45	0.45	
第11期	1,220,810,000	1,156,428,852	9,473	45	0.45	
第12期	1,159,140,000	1,092,907,458	9,429	45	0.45	
第13期	1,042,840,000	1,003,584,849	9,624	45	0.45	
第14期	924,620,000	922,546,253	9,978	45	0.45	
第15期	858,020,000	810,507,601	9,446	45	0.45	
第16期	776,320,000	747,784,810	9,632	45	0.45	
第17期	758,920,000	733,999,726	9,672	45	0.45	
第18期	729,320,000	712,497,440	9,769	45	0.45	
第19期	716,080,000	694,557,784	9,699	45	0.45	
第20期	711,580,000	673,413,326	9,464	45	0.45	
第21期	674,880,000	619,555,977	9,180	45	0.45	
第22期	643,430,000	579,525,324	9,007	45	0.45	
第23期	609,430,000	537,230,447	8,815	45	0.45	
第24期	576,630,000	519,939,294	9,017	45	0.45	
第25期	570,130,000	520,885,231	9,136	45	0.45	
第26期	496,940,000	467,925,093	9,416	45	0.45	
第27期	484,940,000	451,214,804	9,305	45	0.45	
第28期	466,160,000	446,334,201	9,575	45	0.45	
第29期	444,360,000	407,083,972	9,161	45	0.45	
第30期	441,360,000	421,189,657	9,543	45	0.45	
第31期	439,360,000	424,260,987	9,656	45	0.45	
第32期	431,860,000	411,507,025	9,529	45	0.45	
第33期	414,960,000	394,568,210	9,509	45	0.45	
第34期	414,960,000	396,914,807	9,565	45	0.45	
第35期	388,260,000	361,994,677	9,324	45	0.45	
第36期	381,260,000	344,167,288	9,027	45	0.45	

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第37期	376,960,000円	319,635,275円	8,479円	45円	0.45%
第38期	376,960,000	316,494,000	8,396	45	0.45
第39期	374,460,000	304,247,507	8,125	45	0.45
第40期	371,460,000	299,293,938	8,057	45	0.45
第41期	369,460,000	297,350,899	8,048	45	0.45
第42期	360,460,000	283,884,806	7,876	45	0.45
第43期	343,460,000	268,024,941	7,804	45	0.45
信託期間中1口当たり総収益金及び年平均収益率				△212円55銭	－%

### ○分配金のお知らせ

第43期	
1口当たり分配金（税込み）	45円

### ○償還金のお知らせ

償還時	
1口当たり償還金（税込み）	7,837円45銭

### ○お知らせ

該当事項はございません。

# 野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド

## 運用報告書

第12期（決算日2023年10月24日）

作成対象期間（2022年10月25日～2023年10月24日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
主な投資対象	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。株式への投資は、転換社債を転換したもの等に限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
8期(2019年10月24日)	円 12,761		% 8.5	% 98.9	% -	百万円 28,459
9期(2020年10月26日)	13,420		5.2	95.6	-	24,863
10期(2021年10月25日)	13,588		1.3	101.0	-	21,641
11期(2022年10月24日)	11,535		△15.1	103.2	-	15,683
12期(2023年10月24日)	11,842		2.7	97.8	-	7,354

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

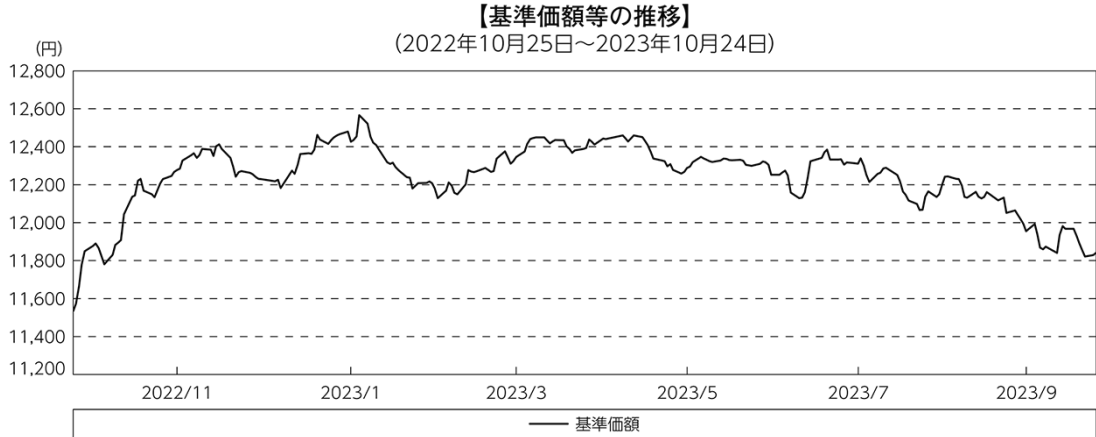
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落率			
(期首) 2022年10月24日	円 11,535		% -	% 103.2	% -	% -
10月末	11,878		3.0	103.2	-	-
11月末	12,278		6.4	93.6	-	-
12月末	12,229		6.0	91.0	-	-
2023年1月末	12,427		7.7	93.8	-	-
2月末	12,217		5.9	101.1	-	-
3月末	12,347		7.0	98.9	-	-
4月末	12,411		7.6	98.4	-	-
5月末	12,288		6.5	101.5	-	-
6月末	12,253		6.2	105.2	-	-
7月末	12,311		6.7	100.5	-	-
8月末	12,242		6.1	100.0	-	-
9月末	11,955		3.6	101.4	-	-
(期末) 2023年10月24日	11,842		2.7	97.8	-	-

\*騰落率は期首比です。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

#### \* 基準価額は、2.7%の上昇

基準価額は、期首11,535円から期末11,842円となりました。基準価額の上昇額は307円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン（利息収入）。

(上昇) 保有していた債券の値上がり（キャピタルゲイン）。

(下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト

### ○当ファンドのポートフォリオ

信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8カ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から当作成期末において、ブラジル、インドネシア、ハンガリー、ルーマニア、南アフリカ、メキシコ、ペルー、コロンビアとしました。ポートフォリオのデュレーションは4～6年程度を維持しました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

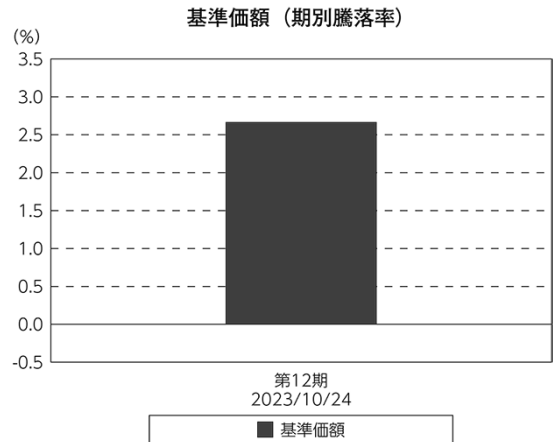


## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。

また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎今後の運用方針

今後の運用につきましては、引き続きBB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、投資対象国は5～10カ国程度を基本とし、定期的に見直します。ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年10月25日～2023年10月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	1	0.012	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( そ の 他 )	(1)	(0.012)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
	(0)	(0.000)	
合 計	1	0.012	
期中の平均基準価額は、12,236円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2022年10月25日～2023年10月24日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ		千米ドル	千米ドル
		国債証券	20,176	81,569
		社債券（投資法人債券を含む）	795	4,622

\*金額は受け渡し代金。（経過利分は含まれておりません。）

\*単位未満は切り捨て。

\*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## ○ 利害関係人との取引状況等

(2022年10月25日～2023年10月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年10月24日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	52,700	48,046	7,195,460	97.8	36.7	67.0	30.9	—
合 計	52,700	48,046	7,195,460	97.8	36.7	67.0	30.9	—

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\* S&amp;Pグローバル・レーティング、ムーディーズ・インベスターズ・サービスによる格付けを採用しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		債 権 年 月 日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千米ドル	千米ドル	千円			
国債証券	FED REPUBLIC OF BRAZIL	4.5	6,500	6,005	899,328	2029/5/30	
	HUNGARY	5.25	6,300	5,919	886,510	2029/6/16	
	REPUBLIC OF COLOMBIA	4.5	7,100	6,115	915,848	2029/3/15	
	REPUBLIC OF INDONESIA	3.4	3,400	3,007	450,400	2029/9/18	
	REPUBLIC OF PERU	4.125	6,400	6,103	914,081	2027/8/25	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	5.875	6,800	5,913	885,677	2030/6/22	
	ROMANIA	3.0	6,700	6,045	905,360	2027/2/27	
	UNITED MEXICAN STATES	4.5	6,400	5,925	887,415	2029/4/22	
普通社債券 (含む投資法人債券)							
PERUSAHAAN LISTRIK NEGAR	5.45	3,100	3,010	450,836	2028/5/21		
合 計					7,195,460		

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2023年10月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 7,195,460	% 95.6
コール・ローン等、その他	331,673	4.4
投資信託財産総額	7,527,133	100.0

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 当期末における外貨建純資産(7,371,915千円)の投資信託財産総額(7,527,133千円)に対する比率は97.9%です。

\* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=149.76円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年10月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	14,595,548,073
コール・ローン等	246,911,113
公社債(評価額)	7,195,460,311
未収入金	7,068,415,025
未収利息	84,761,624
(B) 負債	7,241,201,400
未払金	7,207,701,326
未払解約金	33,500,000
未払利息	74
(C) 純資産総額(A-B)	7,354,346,673
元本	6,210,147,605
次期繰越損益金	1,144,199,068
(D) 受益権総口数	6,210,147,605口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,842円

(注) 期首元本額は13,596,195,472円、期中追加設定元本額は5,159,464円、期中一部解約元本額は7,391,207,331円、1口当たり純資産額は1.1842円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

・野村エマージング・ソブリン 円投資型1211	2,838,153,226円
・野村エマージング・ソブリン 円投資型1212	2,061,198,731円
・野村エマージング・ソブリン 円投資型1301	1,034,464,033円
・野村エマージング・ソブリン 円投資型1302	227,763,241円
・野村エマージング・ソブリン 円投資型1303	48,568,374円

## ○損益の状況 (2022年10月25日～2023年10月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	774,824,173
受取利息	774,901,984
支払利息	△ 77,811
(B) 有価証券売買損益	△ 177,362,183
売買益	3,035,301,509
売買損	△3,212,663,692
(C) 保管費用等	△ 1,798,616
(D) 当期損益金(A+B+C)	595,663,374
(E) 前期繰越損益金	2,087,497,469
(F) 追加信託差損益金	1,140,536
(G) 解約差損益金	△1,540,102,311
(H) 計(D+E+F+G)	1,144,199,068
次期繰越損益金(H)	1,144,199,068

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。